

特集II：大規模イベントのセキュリティを担うセコム

近年、日本では以前にも増してスポーツや国際会議などの大規模イベントが頻繁に開催されており、高度なセキュリティが求められています。セコムでは、最新のセキュリティシステムを提供し、大規模イベントの「安全・安心」な開催・運営に貢献しています。

「立体セキュリティ」を展開

セコムは、大型スタジアムや大型ホテル、分散した複数の会場などで開催される大規模イベントの安全を守るために、地上と上空から広い空間を立体的に見守る「立体セキュリティ」を展開しています。「立体セキュリティ」では、まず「空間情報」を活用して効率的かつ正確な警備計画を立案します。高精度な3次元地図を活用した「セコム3Dセキュリティプランニング」

は、シミュレーションにより想定されるリスクを把握し、最適な警備計画を立案することができます。次に、その警備計画に基づき、地上では各所に設置した仮設防犯カメラや警備員が着用するウェアラブルカメラで撮影した画像を、上空からは「セコム飛行船」「セコム気球」のカメラで撮影した画像を車両型のモニタリング拠点「オン

サイトセンター」でリアルタイムな情報収集や状況確認を行うことで、大規模イベントでの迅速な現場指揮支援を実現しています。



「新型オンサイトセンター」



各種スポーツ大会の「安全・安心」な開催・運営に貢献

セコムは、2019年3月に開催された「東京マラソン2019」では、最新のセキュリティシステムで「安全・安心」を提供しました。約3万8千人のランナーが走る日本最大規模のこのマラソン大会に、セコムは2015年からオフィシャルパートナーとして協賛しており、毎年、大会の主要エリアで、セキュリティサービスを提供しています。「東京マラソン2019」では、先端技術を駆使した最新のセキュリティシステムとして、AI技術を活用して防犯カメラの映像を解析し、緊急事態の把握や放置物の

検索などを行う「AI画像認識システム」、イベント会場の上空から会場の監視を行う「セコム気球」、コース沿道の警備員が異常発生時にスマートフォンで撮影した画像などの情報を関係者で共有する「コース沿道警備システム」などの実証実験を行い、「安全・安心」な開催・運営に貢献しました。

また、セコムは、2019年9月から日本で開催される「ラグビーワールドカップ2019™」にもオフィシャルスポンサーとして協賛しており、東京・神奈川会場で開

幕戦・決勝戦を含む全15試合のセキュリティを担当します。



©東京マラソン財団
マラソンコース沿道の安全を見守る

「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けて

2020年7月から開催される「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」では、日本の民間警備会社が協力して設立した警備共同企業体で、セキュリティサービスを提供します。その中で、セコムは共同代表として主導的な役割を

果たし、この大会の「安全・安心」な開催・運営に貢献していきます。

また、セコムは東京2020関連施設の工事期間中だけでなく、大会期間中は開会式・閉会式などが行われるオリンピックスタジアムや選手村など、多くの東京

2020大会関連施設のセキュリティプランニングやセキュリティサービスを担う予定です。

「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」のオフィシャルパートナー

セコムは、2020年に開催される「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」のオフィシャルパートナー（セキュリティサービス&プランニング）として、「安全・安心」な大会運営に貢献します。

1964年に開催された東京オリンピック競技大会では、当時はまだ創成期だった

セコムが選手村の警備を担当し、社会から高い評価と信頼をいただき、その後の発展につながりました。

2020年の大会を成功させるために、セコムは大会の「安全・安心」な運営を支援すべく、これからも革新的なサービスの創出に取り組んでいきます。

